



寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

おぎゃーってスゴイ！
～生まれてきた自分，
やがて生まれてくる命



イラスト：うじな かずひこ

中学生・高校生など青少年の時期は、自分の親でさえも口うるさく感じる場合があります。

「親になるって、どんな気持ちなのだろう」「親になったら、どんな生活が待っているのだろう」…将来の自分の姿を想像してみましょう。

自分と親との関係にも、少しは変化が現れるかも！？

※このシートは、回収しません。自分の考えをまとめるものですので、自由に書いてください。

やってみましょう

目の前に卵があります。

それは、あなたの子供です。



1 卵を手で温めましょう。

(温めながら、もうじき生まれてくる子供の名前を考えましょう。)

お母さんのお腹の中ではぐくまれてきた赤ちゃんが、生まれてきました。

やっと会えたね！私の赤ちゃん！！

2 卵に、顔と名前を書きましょう。

命名「」
どうしてその名前にしたのですか。



授乳におむつ交換…忙しかった乳児期も過ぎて、幼稚園・保育所等へ入ります。

3 卵を、かご（幼稚園・保育所等）に入れましょう。

手離すとき、どんな気持ちでしたか。



小学校、中学校…その先も、進学、就職と、これからこの子は、いろいろな経験をしながら、一人前の大人に成長してゆくのでしょうか。

4 2～3人ずつ、自分の卵をかごから取り出します。

※人数が多いときは、数人ずつ取り出します。

5 みんなで輪になって、その卵を回しましょう。

※卵を落とさないように、左隣の人から受け取り、右隣の人に渡しましょう。



6 一周回ったらかごに戻しましょう。

※同じようにして、全員の卵を回しましょう。

- ①他の人の卵を回しているとき、どう感じましたか。
- ②自分の卵を他の人が回しているとき、どう感じましたか。
- ③自分の卵が戻ってきたとき、どう感じましたか。

7 本を使って子供の成長をイメージしてみよう。

- 実際には、赤ちゃんは卵ではありません。大きな声で泣いたり、にっこり笑ったり、ウンチやおシッコをしたり、ミルクを吐き出すこともしばしばです。
- 機会があれば、子育て真っ最中の方から、赤ちゃんとの生活について、話を聞かせてもらったり、赤ちゃんを抱かせてもらったりしましょう。
- もし許してもらえれば、妊婦さんのお腹をそっと触らせてもらいましょう。

自分の親（保護者）に対して、どう思いましたか。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp